



いなむら

稲村ひさお 道政だより

2019年 冬号

発行

稲村ひさお事務所
砂川市晴見3条北10丁目9番4号
TEL・FAX 0125-54-3385

皆様の声を道政に まっすぐ空知日線で実行します！

新年、あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私の3期目の任期も残りわずかとなりました。北海道議会議員の議席をいただいて以来、本当に多くの皆様から心温まるご支援を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

私は、「安心して暮らせる空知！元気になる空知！」をモットーに活動を続けてまいりました。道議会においても重要な役職を仰せつかり、空知のみならず道内各地の課題やあらゆる行政分野の問題にも深くかかわることができました。しかし、とりわけ空知においては、急速な人口減少、地域医療の確保、住民サービスに直結する市町村財政の確立など、依然として課題が山積しており、今後も全力で課題解決に取り組む決意です。引き続き、変わらぬご指導・ご鞭撻と、さらなるご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとってご健勝で幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。



本年もどうぞよろしくお願い致します

北海道議会議員 稲村 久男

稲村ひさおの活動アルバム



立憲民主党 枝野代表と力合わせて



各地域後援会で道政報告

深川地域後援会



地域医療の将来について意見交換



北海道議会議員 稲村ひさお 道政報告会

芦別地域後援会



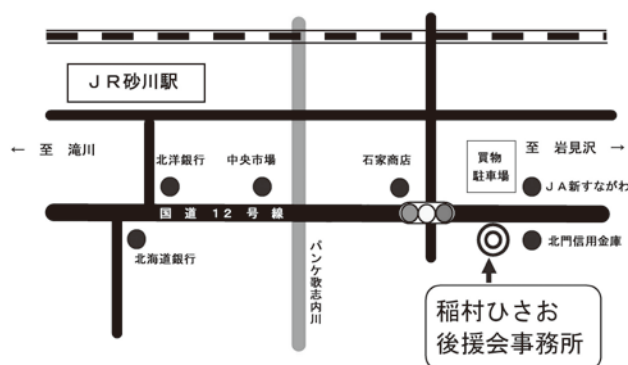
新たに美唄地域後援会が設立されました



報告会 稲村ひさお道政報告会

夕張地域後援会

後援会事務所のご案内



稲村ひさおと明日の道政を拓く会

〒073-0141

砂川市西1条南1丁目1-7

TEL・FAX 0125-74-8420

近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

稲村ひさお 活動報告

◇道議会での質疑回数 (平成30年12月まで)

・代表質問	1回	77項目
・代表格質問	1回	61項目
・一般質問	8回	101項目
・委員会質問	21回	256項目

◇主な役職等

- ・立憲民主党北海道総連合 副代表
- ・立憲民主党北海道第10区 総支部長代行
- ・道議会保健福祉委員会 委員長
- ・産炭地議員連絡協議会 会長

◇会派

- ・民進党・道民連合議員会 幹事長(3期目前期)
- ・民主・道民連合議員会 議会対策委員長(3期日後期)
- ・医療関連振興議員連盟 副会長

■ 地域医療

深刻な医師不足や診療報酬改定の課題など、「地域医療」を取り巻く環境が厳しい状況の中、「地域医療」を確保・充実することは、道民が安心して暮らすための基盤であり、私の最重点課題です。

平成29年度から新たに導入された専門医制度については、専門医を目指す医師が知識・経験のある指導医や症例の多い病院を求めて大学病院が立地する中核都市に集中し、結果として地方の医師不足が懸念されるため、道へ積極的な対応を求めました。

また、空知管内では、自治体病院が地域医療を担う重要な役割を果たしている一方、経営状況は厳しい状況に置かれています。こうした道内医療を支えてきた公立病院の現状を鑑み、医業収益や経営分析を行い、各公立病院に対し、地域医療の方向性を提言書として取りまとめ提出しました。その後、公立病院の機能・業務連携を目的とする「地域医療連携推進法人」の設立や地域医療構想の議論の開始を強く知事に訴えた結果、知事の答弁において「二次医療圏を越えたより広域での議論を行いながら、地域事情を踏まえた医療の確保に努める。」との回答を引き出すことができました。

さらに、平成29年より保健福祉委員会の委員長に就かせていただき、民間医療機関とも意見交換を重ねるなど活動領域が広がり、平成30年度の診療報酬の改定に関しては、委員長の立場で「診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書」を提案・可決されるなど、地域医療の確保に取り組んでいます。

■ 市町村財政

私が「市町村財政」の確立に取り組む理由は、市町村の住民サービスを充実させたいからです。特に、空知管内には、国によるエネルギー政策や農業政策の転換、急激な人口減少、交付税の削減などの影響により、厳しい財政運営を強いられている市町村が多くあります。

私は、道議会における質疑や、空知管内の議員等で構成される「空知産炭地議員連絡協議会」の会長として、中央省庁や国会議員、道に対して財政支援策の強化を要請してきました。これらの活動が、産炭地に対する地方交付税の確保、夕張市に対する道の補助金や職員派遣に寄与していると考えています。

また、自治体病院の経営悪化が市町村財政に大きな影響を及ぼしていることから、国会議員と連携し、空知管内の自治体病院に有利な借り入れである公立病院特例債を活用できるよう努めたほか、過疎債の適用範囲を拡大し返済期間を延長させたことは、市町村長や国会議員とも連携した活動の結果と考えています。

■ 地域の活性化や人口確保

人口減少が著しい空知においては、産業を活性化し、雇用の確保から人口確保につなげることが不可欠です。私は、これまで空知の特性を活かした産業創出に取り組んできており、例えば、道に対して林業大学校の誘致の状況を質すことで、道内4か所のうち、空知では美唄市・芦別市の2か所に同校の講義拠点を設ける方針を引き出したことは、活動の成果の1つと考えています。

また、雇用の確保に関しては、奈井江発電所休止に伴う地域経済への影響を鑑み、道に対して支援を行う考えはないか質し、採掘業者への緩和策を検討させたことや、非正規労働者の雇用環境改善にも努めています。

■ 憲法・TPP・エネルギー問題や防災対策

2015年の安全保障関連法強行採決に際しては、戦後国民が守ってきた平和憲法の理念を覆す極めて危険なものとして認識し、道議会において法案の慎重審議を求める意見書や採決に抗議する決議を提案するなどの取り組みを行ったほか、「平和憲法を守る空知の会」副代表として、様々な場で憲法と平和の理念を訴えています。

また、TPP関連においても、知事の「理念なくして国に追従する姿勢」を追求し、知事のTPP対策予算案に反対するとともに、北海道独自の影響調査や道民議論を行う予算計上を求めるなどの取り組みを進めました。

一方、エネルギー問題では、安全性が確保されないままの原発ではなく、「空知産炭地議員連絡協議会」を通じて木質バイオマスなどのクリーンエネルギーを促進するよう働きかけを行いました。

さらに、防災対策では、防災機能を高めるため、市町村の防災計画や避難計画の策定支援等を行いました。今般の北海道胆振東部地震を経験し、災害に備えるため、今後も防災機能を強化するよう強く訴えていきます。

■ 幹事長として

私は、3期目の前期に会派における幹事長に選任されました。幹事長という役職は、会派の運営・決定に関するあらゆる業務を総括的にまとめる大変重要な立場であり、議会中は、条例・予算案の審査について会派の意見をまとめ代表質問も行いました。議会閉会中は、道内各地での意見交換会や団体等からの要望対応、党や中央省庁への要請行動に取り組みました。今後も、皆様の声を道政に反映させるため、これまで以上に会派のまとめ役としても全力を尽くす覚悟です。

